

2018年11月9日
Burns & McDonnell
株式会社日立製作所

バーンズ&マクドネルと日立が米国電力会社パシフィックから大型変電所工事を受注

米国のエンジニアリング会社である Burns & McDonnell (CEO:Ray Kowalik/本社:ミズーリー州カンザスシティ/以下、バーンズ&マクドネル社)と株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭)の電力流通事業に関する米国子会社である日立 T&D ソリューションズ社(CEO:Ken Badaracco/本社:ジョージア州スワニー/以下、日立)は、このたび、米国オレゴン州に本社を置き、米国西部 6 州、約 190 万世帯に対し電力を供給している電力会社である PacifiCorp(以下、パシフィック社)から、ワイオミング州に建設される 2 つの新しい高電圧変電所と南ワイオミングにある Jim Bridger(ジムブリッジャー)変電所の改修工事プロジェクトを受注しました。バーンズ&マクドネル社は EPC サービスの提供を、日立はプロジェクトに使用される全ての大型変圧器 8 台とガス遮断器 21 台を提供します。

パシフィック社は、1,000MW 以上の風力発電の増加に対応するため、ワイオミング州メディスン・ボウ近郊に 500/230 キロボルトの Aeolus(エオラス)変電所を、ワイオミング州ポイント・オブ・ロックス近郊に 500/345 キロボルトの Anticline(アンチクライン)変電所を新たに建設する予定です。また、同時に、ポイント・オブ・ロックス近郊にある既存の Jim Bridger 変電所を改修し、グリッドの安定性を向上させる予定です。

バーンズ&マクドネル社と日立では、今月からエンジニアリング設計を、2019 年 4 月から建設を開始し、2020 年末までに完成させる予定です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
